

浅井町ふれあいたより

9月号

重点施策 「安全で安心なまちづくりと子どもたちの健全育成」

発行日 平成 30 年 9 月 1 日 発行者 浅井町地域づくり協議会

一宮市浅井町前野字郷西 85 (浅井町出張所)

ホームページ 138azai.org(検索「浅井町地域づくり」)



「地域とともにある学校」

一宮市立浅井南小学校 校長 吉峯 博司

「光陰矢のごとし」と言われるように、4月の新年度がスタートしてから、あっという間に4カ月が過ぎました。363名の児童が全員そろって元気に1学期の終業式を迎えることができたのは、本校の教育活動に対する保護者の皆様のご理解とご協力はもちろんのこと、地域の方々のご支援の賜物と感謝しております。

1学期を振り返ってみますと、改めて地域とのつながりの深さを強く感じます。本校では、地域の方々にお力添えをいただいて、児童の豊かな心の育成につながる様々な活動をしています。5月には、サツマイモの苗植え(2年生)、6月には、伝統文化体験(6年生)とナゴヤダルマガエル調査会(3年生)、7月には、菊の苗の定植(4年生)を行いました。



5月下旬の「サツマイモの苗植え」では、事前に同窓会の方が耕してくださった畑に、苗を1人ひとり大切に植え、水をあげることができました。秋に大きくなったサツマイモを収穫するのがとても楽しみです。6月中旬には、3年生が、地域の方や農協の方の協力を得て「ナゴヤダルマガエルの生息確認調査会」を行いました。そのカエルは、環境省レッドリストランクでは絶滅危惧ⅠB類となっており、この辺りでは、河端のごく一部の水田にしか生息していません。今年の調査会では、200匹近く生息



していることが確認されました。このような珍しい生き物がこれからも地域の田を住処としていけるように、自然を守っていくことの大切さを児童は身をもって体験することができました。また、7月中旬には、浅井町菊友会の方々のご指導のもと、苗の定植を行いました。今年も美しい菊の花が咲くように取り組んでいきたいと思えます。「大人が協力すれば、子どもたちは必ずよくなる」と考えます。いよいよ2学期が始まります。今学期も、児童が心も体も元気で過ごすことができるよう、温かい声かけや見守りにご協力をよろしくお願いいたします。



ソーシャルクラブ講演会の開催

7月18日(水)午後1時から浅井公民館で



一宮ソーシャルクラブ主催の防災講演会「局地的豪雨災害について」が開催され、多くの町民が聴講しました。前半は気象災害の概要と災害事例について、休憩をはさみ後半は気象状態や河川状態等の監視、防災気象情報の発表と活用について日本気象予報士会の松本武寛氏がプロジェクターを使ってわかりやすく説明されました。

ふれあい盆踊り大会の開催

7月14日(土)午後6時より「2018 ふれあい盆踊り大会」が浅井公民館駐車場で開催されました。午後6時から各種模擬店が、6時15分から一宮太鼓の活気ある演技、そして午後7時には中野市長ご夫妻をお迎えし、盆踊りが本格的に開始。太鼓の音に合わせた踊りが続き、真夏の夜のひと時を過ごしました。



成人講座開校式

7月19日(木)午後7時から浅井公民館主催の成人講座がフラメンコで華々しく開講しました。オープニングは、世界で一番早い三拍子リズムの手拍子でショーが始まり、初めてフラメンコを見たという受講者から「綺麗だった。」「素敵な衣装で楽しく見せてもらった。」と楽しんでいました。成人講座は9月まで6回予定され、最後にはお楽しみの社会見学もあります。



孫といっしょに社会見学

7月27日(金)「孫と一緒に社会見学」が実施さ



れ、21組の小学校3・4年生と祖父母が参加しました。午前9時に浅井町出張所を出発。佐千原浄水場で水の大切さを、地域文化広場ではプラネタリウムで星座の勉強を、美濃和紙の里会館では紙すき体験を、そして最後の岐阜県広域防災センターでは災害発生時の体験研修を行いました。いずれの見学や体験もタイムリーなもので興味深く、祖父母と孫あるいは参加者同士の親睦が図ら

れ、たくさんのお土産とともに友達の輪も広がった社会見学となりました。

鮎つかみどり

8月4日(土)午前9時より浅井公民

館家庭学習部主催の「鮎つかみどり」が公民館駐輪場で開催され、多くの子どもと一緒に保護者が朝早くから訪れました。初めて魚をつかむ子どもは家族の助けを求め、目標の3匹の鮎をゲット。夏休みの貴重な体験ができた行事となりました。



浅井町の夏祭り

宝生町納涼祭 (7.22)

江森盆踊り大会 (8.4)

河端町内盆踊り大会 (8.4)

黒岩祇園祭 (8.4)



長田納涼祭 (8.4)



河田盆踊り大会 (8.4・5) 大日比野天王祭り (8.5)

